

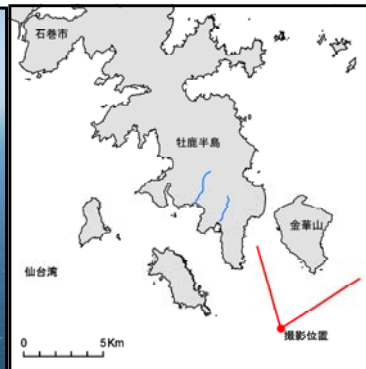
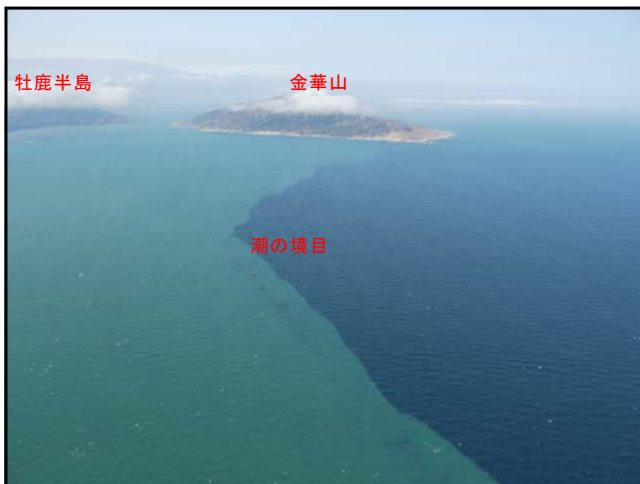
平成22年3月25日
第二管区海上保安本部

問い合わせ先
第二管区海上保安本部
海洋情報部 専門官 木村信介
電話 022-363-0111 (内線2511)

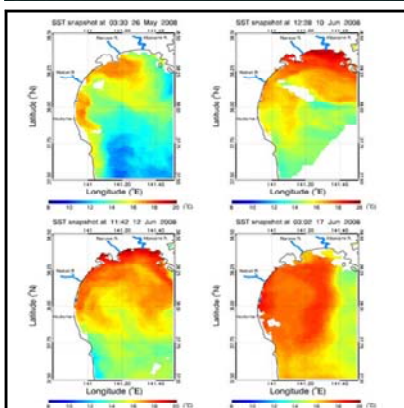
仙台湾で明瞭な潮の境目を撮影しました

3月23日13時30分頃、仙台航空基地所属の航空機が、宮城県金華山沖を哨戒中に海面の色が異なる潮の境目を確認しました。遠方からもはっきりと確認できる程明瞭な色の違いがあり、赤外線による画像で水温に差があることも確認できました。

海面の色は、海水に溶け込んでいる物質の量によって変化します。今回は、仙台湾へ供給される河川水と、河川水に含まれる豊富な栄養分によって増殖したプランクトンにより色や水温の違いが発生したと考えられます。



金華山の南で撮影された潮の境目と撮影した位置図。写真の左側が河川水の影響を受けている部分で、右側より水温が高い。



仙台湾内の海面水温分布の例。河川から供給された暖水の塊と海水との間に境界ができています。

東北大学大学院
川村教授作成